

全 員 協 議 会 記 録

令 和 7 年 3 月 4 日 (火)

13 時 00 分 ~ 14 時 37 分

全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長

肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、

柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、

永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

〔事務局〕 下間局長、松井次長、大下書記

議 題

1 自由討議について

2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 00 分 開議]

○議長

ただいまから令和7年3月4日の全員協議会を始める。

1 自由討議について

○議長

昨日の全員協議会での自由討議の続きである。実施要領にも定められているが、自由討議の目的は、問題点を浮き彫りにし様々な観点から論点整理し、議員間の理解を深めた上で議論を尽くし、合意形成に努めることである。また、発言者は自らの意見や考えを積極的かつ丁寧に述べるとともに、ほかの議員の意見に対しても真摯に耳を傾け、討議を尽くして論点を明確にし、最適な結論を導き出すよう努めるものとするとしている。

昨日の話では、三桜酒造跡地活用、郷土資料館建替え、石見神楽保存伝承施設（以下、神楽伝承館）等については議員によっても様々な考え方や意見が出てきた。今日も積極的に意見を出していただき、また、その意見を聞いて議員間で討議していただけたらと思う。最終的に議会としての最適な結論につなげたい。

まず、昨日の三浦議員の意見が伝え切れてないと思うので、そこから始めたい。三浦議員、願います。

○三浦議員

議員間討議で皆のご意見を伺ってみたいと申し上げたのは、各専門家の集まる検討委員会から出された提言書、並びに昨日の委員会でも報告され全員協議会でも報告された調査結果が、市長の施政方針や整備方針に反映されていない点に私は疑問を持っているが、皆はどのように捉えているのかお聞きしたい。

あとはそれに付随する部分として、教育委員会の予算に上がっている神楽伝承館を仮に建てるのであればどういう拠点であるべきなのか検討されることになっているが、まだ議論されてない。規模、機能など。例え仮であっても整備方針を示すのは早いのではないかという問題意識を持っているが、これについて皆はどう思っているか伺ってみたい。

○議長

今の意見について、自由に意見をいただきたい。

○村木議員

私は産業建設委員会委員なので、そこでの発言と被る部分もあるかもしれないが意見を言わせていただく。

まず、コンサルの調査を基に出されたこの報告書自体がたたき台なのではないかと私は考えている。市民に共有する場があるかと問うと、将来的にはあるとの話だったが、予算がある程度出されている点に疑義を感じている。

今回の調査報告書において拠点候補は三つあり、ある程度のまちづくり構想もこれに載っている。まさにこの報告書をもって市民や議会と議論すべきだと思う。

私ども委員会では、安芸高田市や富山県富山市に行き、神楽施設や市街地にぎわいを見た。富山市には市街地計画があり、中には三つの柱があった。まず交通対策、そして健康的なこと、そして産業。確かに富山市とでは財政規模も人口も違うかもしれないが、そこには交通というつながりを持たせる意図的な考えや、歩きたくなるまちというテーマで作られていた。

全員協議会も大事だが、まずは総務、福祉、産業各委員会の目線でも今回提出された資料をもって議論すべきではないか。10月に改選があるので特別委員会などという大きなことを言う自信もないが、370万円も掛けて駅前のにぎわいに関する基礎データが出てきたので、これを生かすためにも委員会の中でも議論すべきと思っている。

もう1点は予算関係で思っていることがある。まずはたたき台だと言われたが、まだ三つの機能が決まっていないうちに施設を核として駅周辺エリアのにぎわい創出を目指した活性化計画を策定すると書いてある。たたき台とはいえ、これが通ればたたき台ではなくなる気がしてならない。どちらかといえば三桜酒造跡地を核とした計画ということに問題があるかもしれないが、まず駅周辺の基本構想を検討することが大事ではないか。どのような施設を建てることで駅周辺が活性化されるかを検討すべきだと思う。

三つの機能があえて出たことが気になるところである。今タブレットに発信した資料は令和5年9月の市民アンケートである。提言前の資料ではあるが、このアンケート内でも少数意見だったものが、なぜ三つのうちの一つに入っているのか。アンケートではマルシェなどのにぎわい部分が上位に来ていて、それが取り上げられるべきではないのか。

とにかく報告書については、まずは各常任委員会の視点で駅周辺を考えるべきではないか。また、なぜこの三つの機能が先に出たのかが疑問である。

○三浦議員

言い忘れた点があった。村木議員が中心市街地の整備について触れたが、まず駅周辺のランドデザインがあってその中で施設が語られるのが正しいのであって、今回は施設の話が先に来ている、その順番に違和感がある。この進め方についても皆の意見を伺いたい。

○議長

もう一度整理すると、提言書や調査結果がどの程度反映されているのか、次に神楽拠点整備の具体的な考え方がまだできてない点、もう一つは中心市街地のにぎわい創出について方向性を示す順番が違う点。以上3点について。

○川上議員

もともと浜田駅周辺の計画をしっかりと作ってもらいたい思いで、これまでも発言してきた。駅前からの直進道路をどうするかも決まってない。道分山のことも決まってない。こうなったら良いという希望は皆たくさんお持ちだが、まずは基礎となる環

境を整えた上で、新しいものをつくっていくのが筋だと考える。したがって駅前の開発計画、または新たなものの考え方を提示した上で三桜酒造跡地のことを再度考える方向が一番良い。

○西田議員

三浦議員が言うように、駅周辺のランドデザインが必要というのは私も去年12月の一般質問で触れたと思う。ホテルが複数リニューアルされたり、君市踏切が拡幅されて駅東西の往来がスムーズになったりして、これから市民や観光客などの人流が増えるだろう。そのためにも駅周辺全体のデザインは大事である。どこに滞在して、どこにお金を落として、皆によるこんでもらえるかをしっかり考えてほしい。我々もまた考えなければいけない。

12月の答弁で、駅周辺のまちづくり構想が上がってきたら全体デザインを検討すると言われたので期待していたが、その前に当初予算に事業として盛り込まれていたのは非常に残念である。もう少し順を踏んで、まず説明をいただき、それを基に皆で考える段階もほしかった。三桜酒造跡地をにぎわい創出の拠点として整備するにはどうしたら良いか、知恵を出していただきたい。

石見神楽の拠点もすごく大事である。石見文化ホールや、ゆうひパーク浜田などの既存施設をもっと生かすこともしっかり考えるべきである。

三桜酒造跡地を、老若男女が楽しめるような場所に整備してほしい。

○永見議員

やはり駅前全体のにぎわい構想を固めてから、次に三桜酒造跡地の検討に入るべきである。三浦議員や川上議員の意見に賛同する。

○串崎議員

今回の件は本当に唐突だという感覚である。施政方針で述べられたことはたたき台だと市長は言われた。施政方針とは、市長の熱い気持ちをもって絶対にやるのだということを書くべきものだと思うが、それをたたき台だと。理解しがたい。

神楽伝承館については大変大きな話である。市長はこういった会議を数回開き、皆の意見を聞いて、最後に本気で決断してから皆に説明すべきである。そういう配慮が今回は足らなかったと思う。

コンサルの調査結果などが反映されていないようにも思う。私も、駅前周辺に資料館というのは違うように感じる。岡本議員が以前提案した、浜田城資料館との合築案には私も手を挙げた。いずれにせよもう少し時間を掛けて議論すべき問題と感じた。

○村武議員

石見神楽専門委員会の提言書に「拠点施設の検討が必要である」とあるが、さらに「専門委員会においては、石見神楽の保存伝承に向けた検討に当たり、建物ありきの議論とならないよう十分配慮して検討を行ってきた」と書いてある。これだけ丁寧に議論してもらったのだから、拠点施設の検討をまずしっかり進めていくべきである。それが今回教育委員会から予算が上がった石見神楽伝承内容事業だと思う。石見神楽拠点の検討が行われていないのに、三桜酒造跡地が上がってきているのは本当に疑問

である。

駅周辺のにぎわいについては、三桜酒造跡地も含めて全体を考えていく必要がある。専門知識も大事だが、市民の考えも十分に入れて進められたい。

○柳楽議員

三浦議員の考えは、駅周辺の構想策定事業の前段に、「三桜酒造跡地活用を核とした」と入っていることがやはり問題だという捉え方で良いのか。

○三浦議員

三桜酒造跡地は駅周辺のまとまった土地なので、中心市街地の整備計画には大きく影響すると認識している。したがって、全体を描いた中で整備の方向性を定め、次に必要な機能を検討するというのが、あるべき議論の流れだと思っている。ここにこういう機能が必要だということから考えていくと、周辺計画がそれありきになってしまう。ランドデザインがその施設を核にしてつくられていくことになり、非常に重要となる。

私はそもそも大きいところを考えてから必要なものを考えていくプロセスのほうが、正しい順番だと思っている。考え方が異なるということを指摘しており、皆はどう思われるのかを知りたい。施設ができたならそれに引っ張られてまちができていったら良いという意見もあるだろう。であればそれを述べてもらえば次の議論ができるのだが、まだないので議員間討議を求めている。

○柳楽議員

おっしゃるとおりである。駅周辺全体をまず考えるのは大事だと思う。拠点施設については、何を保存伝承すべきかが決まっていなくて施設の規模感も出てこないで、内容を詰めた上でやっていく必要がある。

コンサルの調査報告書に、そこがにぎわいの場所になるかという点と違うといった書き方がされていた。石見神楽振興議員連盟（以下、神楽議連）が神楽社中と意見交換した際、神楽、の拠点ができるとしたらそこが情報発信の場になってほしいという意見があったがそのとおりだと思う。拠点施設に舞を舞える機能は個人的には不要だと思っている。代わりに映像で流し、各地のイベント情報も発信すると浜田市全域に波及していくと思う。にぎわい拠点になりにくいということも考えた上でやらなければいけない。

○布施議員

石見神楽をつくり出した浜田の伝統をにぎわい創出に持ってくる、観光施設と合築させて観光客にも来てもらいたい、郷土芸能の誇りを理解してほしい。コンサルのA案ではにぎわい創出はできないかもしれないが、起爆剤として駅周辺の活性化を目指したい。市長がこのたび出すたたき台は、これらの非常に難しい課題を一緒に考えている。

郷土資料館の建替えについては、早く進めるべきだとほぼ全議員が思っている。今よりも大きい収蔵庫を備えながら、世界こども美術館（以下、美術館）との合築は理解できる。

三浦議員が言われたように、駅周辺の活性化・にぎわい創出と三桜酒造跡地の話を一緒に考えようとする、伝統文化保存のための施設でにぎわい創出ができるとは思えない。やはり駅前構想があって初めて次が出てくると私も思っている。

駅周辺のにぎわいについては、銀天街はほとんど外部から入った飲食店で、飲食することでしかにぎわいは生まれにくい。イベントをやろうにも猫の額のような土地で絵を描きにくい。どうやってグランドデザインができるだろう。地権者の思いもあろうし、浜田市の思うようにはなかなかできないのでは。

君市踏切の改修で東西がつながるが駅北の話は全く出ず、出るのは駅前の話ばかりである。神楽伝承館は必要だと思うが、三桜酒造跡地が最善の場所ではない気がしている。柳楽議員が言われるように、そこで情報発信して石中央文化ホールや三宮神社への人流を生むなども大事だと思う。

市長の観光戦略で浜田へ来てもらっても、石見神楽をつくり出した本場のまちとして見えないと映像が生きてこない。生で見た経験から石見神楽の良さが伝わる。次の関西万博で世界の人に石見神楽を見ていただき、それを契機に浜田に来ていただく。そして来ていただいたからには一度は生で見てもらいたい。せめて団体客が来たときに披露できる拠点施設は必要なのではないか。

今回1,400万円の予算が付いていることに納得いかない議員はおられると思う。必要な予算は認めつつも、やはり疑問が残るならそれは言うべき、合議制で進めるべきだと思う。

○三浦議員

それでも私は、やはり計画が必要だと思っている。新しい君市踏切が開通すれば南北のアクセスが大きく変わり、今後の民間投資の呼び込みも変わり、北側の土地利用も変わってくるだろう。

飲食店の何が一番ネックになっているかといえば、浄化槽問題だと思っている。下水道が整っていればそれにつなぐだけなのでイニシャルコストは下がり、駅周辺の飲食店を集約しやすくなると思う。それももくろみながら行政が駅周辺下水道整備を優先すると示せば、まちの今後の投資も全く変わってくるだろう。今後の駅周辺をどのように位置付け、どういう場所にしていくのか、市がきちんと方向性を示すだけでも、そこで商売する民間事業者が方向性を考えるきっかけになる。

もう一つは、東公園をどう考えるかである。東公園で何かしらの大会がある日は駐車場が満車になるほどの来場者があるのに、銀天街の飲食店へ人が流れる様子はあまり見られない。また、東公園は以前から地盤沈下の問題などいろいろ言われているが、その整備も今回の計画に入っていない。念のため教育委員会に確認したが、やはり計画はないと言っていた。駅前の飲食店街と絡めた公園にするという計画を市が示した場合、新たな投資を考える人が出るかもしれない。逆に、地盤沈下を避けようと東公園の野球場や陸上競技場を他所へ移すという方針を市が示したとしたら、また考え方が変わってくるだろう。行政がある程度グランドデザインを描きながら、民間と行政が一緒につくっていくスタンスが必要なのであり、それは市長も言っておられた。

今回の1,400万円の内訳を見ると、どういう施設を作るかと、それを核とした計画を作るための予算ということになっている。つまり1,400万円には計画策定予算も入っている。私は、計画は必要だと思う。ただ、施設を核と決め打ったグランドデザインで本当に良いのかという疑義は呈しておきたい。布施議員も触れられたように、石見神楽の拠点施設がにぎわい創出の拠点になるかは分からない。そういう施設を核にしたグランドデザインで本当ににぎわい創出ができるのかという疑問を持っている。駅周辺全体を考えたときに初めてその土地にどんな機能を持たせるべきかを議論できるのであって、順番が逆ではないかと指摘している。布施議員や岡本議員の抱いている不安と、私の不安は同じものである。それをどうしたら解消できるのか、納得感が持てないと今回の予算に賛成はできない。それを議論したいのである。

○布施議員

三浦議員の言われることは分かる。コンサルが出した案には、三桜酒造跡地に石見神楽保存伝承施設を建てても全体のにぎわい創出にはつながらないと、専門的知識でそう書いてある。

今問題なのは、駅前全体をどうしていくのか。にぎわい創出は第一条件だと思う。しかし、三桜酒造跡地に、郷土資料館と、石見神楽保存伝承施設と、にぎわい広場という三つの機能を一緒くたに考えるから問題になっている。

郷土資料館にお金が掛かるなら掛けても良いのでは。石見神楽保存伝承の拠点が必要なら必要で良いが、すぐではなく、駅前のにぎわい創出を先に考えた上で、その後の検討項目に入れるという考え方もできるのでは。全てを一緒にやろうとしているから無理が来ているように感じる。

○岡本議員

グランドデザインができてから次にとなると、いつできるのだ。郷土資料館は以前から計画されていたのだから、早くしてほしいというのが私の思いである。美術館と併設という案が出て、時間が掛かるのは仕方ないと思っていたら三桜酒造跡地の話が出てきた。そもそも城山の資料館と併設してほしいという市民の声があり、私はそれを受けて請願の紹介議員になった。早くやりたい、そのための議論がしたい。議会が足止めしているのではと言っている人もいる。どういうグランドデザインが良いか、議員側からも提案があってしかるべきである。

○三浦議員

少なくともこの3年間、グランドデザインをつくるべきだと私は執行部に言い続けてきたが、着手していない。ようやく調査事業をされると言われたので私も期待した。その調査事業をどれほど重く受け止められたか疑問である。

郷土資料館の建替えは早くやるべきだという岡本議員の意見には賛成である。だからこそ、順序を理解しやすく説明してほしい。執行部側からすると、議会が反対すると捉えられるかもしれない。しかし納得できてないことに賛成する議会のほうが恥ずかしい。予算が正しく使えているかをチェックするのが我々の仕事の一つなので、それができてないと思えば手は挙げられない。むしろそれが正しい姿だと思っている。

○議長

郷土資料館について整理すると、展示内容や規模感などの説明を我々はまだ受けていない。今回、神楽伝承館と合築の話が浮上したので、また中身が変わってくるだろう。我々は神楽伝承館だけでなく、郷土資料館についても説明を受けてないことを理解した上で議論されたい。

○三浦議員

郷土資料館の環境改善は本当に早くすべきだと思っている。1日も早く方向性が決まり、議会も納得する形で進んでいくことを心から望んでいる。石見神楽は浜田の大事な宝として、皆で振興していこうというスタンスは私も同じである。郷土の財産としてどう保存継承していくのかは、しっかり考えなければいけない。かつ、駅前のにぎわいもしっかり考えなければいけないという思いは一緒である。ただ、十分な議論を踏まえて手を挙げたいからこそその問題提起であることを理解いただきたい。

○岡本議員

三浦議員の言われること、私の気持ちも酌み取ってもらっていることは理解した。一つ答えがない点がある。グランドデザインは市がつくるべきだが、なかなか進めない現状であるなら、議会側から提案しても良いのではないか。この点についてはどう考えるか。

○三浦議員

グランドデザインは市長が描くべき仕事だと思う。ただ、議員側からの提案はあるので、これだけ待っても出てこないなら議会側でたたき台をつくり、我々でもんで、議会の総意でそれを市長に示すことは必要だと思う。ただ、グランドデザインを議会で作るなら特別委員会を設けるなど、議員皆で議論が必要である。駅前のにぎわい創出というテーマを掲げて検討する場を議会内に設けてはいかがか。

○岡本議員

市長がグランドデザインをつくるために、コンサルに大きな予算を投じて調査させていることは理解している。先ほど三浦議員が言われた駅前の下水道整備の例えのように、我々議員はそれぞれの知見からいろいろな観点を示すことができるし、それを言っていく議会でありたい。そういうことを提案したらどうかと言っている。

○川上議員

岡本議員の言われることは確かだと思う。ただし、グランドデザインを考えていただきたいということは、三浦議員も言われたとおりこれまでに何度も言っている。

本来やるべきは、浜田駅周辺エリアにぎわい創出に向けた現状分析及び調査事業である。その中で施設の提案をされた。私が期待していたのは、調査を基にグランドデザイン設計に資する資料が出てくることであり、三浦議員もそうだと思う。せっかく370万円も使ったのなら諸資料を出してほしかった。当初予算の締めは1月20日だったが、コンサルの調査資料が提出されたのは1月末である。コンサル資料を参考にしたと市長は言うが、実際は市長の提案のほうが先に出ているのである。サマーレビューが6、7月。10月1日に予算の提案が始まる。1月上旬から中旬には市長ヒアリングで

査定されている。つまり市長は、三桜酒造跡地に三つの機能の複合施設を建てる思いを先に出して進められている。資料の4-12、15、18などの下部に書いてあるのはコンサルの良心である。本来市長はそれを酌んで進めるべきだった。370万円をどこに掛けたか全く見えてこない。逆に言えば、これまで何度もやってきたことを一切無視している。したがって議員側が先行して、早急にグランドデザインをつくるのも良いと思う。もしも特別委員会が設置されるなら私は参加する。

○大谷議員

手順や過去の経緯についても当然論議していくべきとは思いますが、あまり時間が無い。国の補助金がこの先打ち切られるのは必然である。

大分県には、古民家に宿泊し郷土芸能を体験してもらうプログラムがあり、フランス人の宿泊客が300万円消費した事例があるらしい。同じようなことが浜田でできれば、空き家問題の解決にもつながるだろうし、石見神楽がお金を生むことも期待される。早く実現に向けて一步踏み出したほうが良い。現在、高校生が石見神楽の英語翻訳に関わっている。それらも早く披露できる場面があると良い。

いろいろあるかもしれないが、前進することを優先したほうが良いのでは。特別委員会を設置してでも、議会の総意をまとめていくことも一つの方法論かと思う。何かしら論議を進めたい。

○牛尾議員

グランドデザインは現職の市長か、市長を目指す者が提案すべきである。市長には提案権があり、議員には議決権がある。市長が暴走したらそれを止めるのが議会の役目であり、議会が正常に機能しているから市長にストップが掛かっている。その状態がおかしいという考え方は改めてほしい。

すでに予算が1,400万円上がっているのだから、これを具体的にどうするかという問題だけである。やるべきことの優先順位を付けて全議員で話をしながら1,400万円の方向性を付けていかないと、どこまで行っても結果は出ない。

僕は銀天街に30年いて、新町商店街も活性化においてずっと身銭を切ってきてきたが、にぎわいを出すのはお金がかかるし本当に大変である。にぎわい創出にも相当携わってきた。今は地盤沈下の問題もあり、活性化を図るのは至難の業である。コンサルが提案しているように、社会実験で市民を巻き込んで試してみれば良い。

皆熱い議論をされているが、どこかでまとまる糸口に持っていけないと何時間座っても一緒だと思う。目の前に上がっている予算から逆算して意見をまとめようではないか。

○議長

予算のことは予算決算委員会でやるべきだと私は思っている。1,400万円については、そこでしっかり議論されたい。

○芦谷議員

事前説明、手順、思いの食い違いなどで懸念があるのだと思うが、団体や市民の声を聞く場面を設けたりしながら、話を進めるには議会が何をすべきかという観点で

やりたい。

駅周辺の顔づくりは市政、政治の責任である。進め方、手順が不十分であるなら、今から議員や市民の声を反映させながら、ときに軌道修正し、ときに追い風を送るべきである。不十分であっても議会として何とかまとめる、そういった議会力の発揮が必要である。

○牛尾議員

漠然としたものを並べて、議会力に結び付けるのは暴論である。

○三浦議員

くり返しになるが、例えばこのタイミングでこの構想を後押しする主張を持っておられる方にとって、石見神楽検討委員会の提言書に「拠点をつくるなら、その専門委員会をまたつくり、そこでどういうものが必要かを議論するべき」と書かれ、来年度予算にその事業費が上がっていることはどう捉えられているか。どのような施設でどうあるべきかを議論する前に、郷土資料館と神楽伝承館とにぎわい広場は三桜酒造跡地に三位一体で設ける方針ありきで計画を作っていくことについては、どのように整理されるのか。

○布施議員

令和4年からずっと、三桜酒造跡地には石見神楽の情報発信施設として考えても構わないと市長は示されていた。石見神楽の拠点の必要性は皆分かっている。拠点とは施設だろうとも思っているはずである。そのためにたたき台として三桜酒造跡地を出したのだと私は理解した。

ただ、駅前のにぎわい創出と三桜酒造跡地を結び付けるのは無理があるとは感じている。

○三浦議員

おっしゃるように、三桜酒造跡地活用検討委員会の中で、そこに石見神楽の拠点施設を建てることについて一考しても良いという文言があったことは承知している。それを受けて市長が方針を示されるのは市長の考えなので良いが、石見神楽の拠点をどういうものにするかという検討は今後なされるものであり、適正なサイズ、適正なものがまだ想像できない。市長には具体的な案があるのだろうか。だとしたら、また専門家を集めて石見神楽の拠点施設について検討するという教育委員会の予算は一体何のためにあるのか。

検討委員会からの答申を受けて予算計上されている事業を経て、その結果から具体的に建物が必要だという方針になって初めて、場所と計画が出てくるのが正常な順番なのでは。なぜ、手前の議論が終わってないのに計画が先に始まるのかが疑問なのであり、皆はどう思われているのかを問うている。

○岡本議員

三浦議員の疑問は分かる。しかし私が紹介議員になった請願は、おおむね三桜酒造跡地に合築する方針が出ているからとして否決され、納得した経緯がある。したがって、その時点から皆は三桜酒造跡地に合築することは承知の上なのだと思います。

我々会派はそのつもりで各地の施設を視察してきた。

石見神楽の伝承内容については、神楽議連でも話したし、検討委員会も若干の方向性を示された。先日、神楽議連の会長と話した際に場所についてはまだ検討の余地があると言われたが、ほかにどこがあるのか。私は三桜酒造跡地に合築するのが良いと考えている。ただし、まず絵が見たい。今回はそのための予算だと認識している。

○三浦議員

少なくとも私は、これまで合築ありきの議論が進んでいるとは思っていない。したがって、その方向性が今回初めてたたき台として示されて疑問を抱いている。

市長の思いを否定するものではない。しかし、今後新たに立ち上がる予定の検討委員会が出す結果はどうするのか。検討委員会に掛かる六百数十万の予算は何のためか。合築ありきでスタートさせるなら、検討委員会を開く必要はないはずであり、整合性につかないということをやっと指摘している。どう整理したら良いのか。

○布施議員

市長部局は神楽伝承館が前面に来て、郷土資料館については合築で考えている。教育委員会はいくまでも郷土資料館を何とかしたい。それをもし1か所でやるなら、郷土資料館の中に石見神楽伝承コーナーを作る。現在、市長部局と教育委員会とにわずかな考えのずれがあるように思う。

○三浦議員

仮にそうだとすると、教育委員会は独立しているとはいえ方針の不一致があるなら大きな問題である。予算を上程する際に、執行部としての見解の一本化はしていただきたい。

○布施議員

あくまで私の推測の話である。先般の産業建設委員会において、坂田副参事と副市長の言葉には少しニュアンスの違いがあった。同じように、教育長と市長の答弁も違う。したがって、郷土資料館をどうにかしたい教育委員会と郷土資料館の案があるなら神楽伝承館と合築しようという市長部局とに考えのずれがあるのではないかと問わせてもらった。

○三浦議員

いろいろな答弁からそれが見受けられるということであれば、不一致の状態それぞれに予算を割いていることになり、議会はどちらのスタンスを支持するのかという話になる。このまま進んで良いのか余計不安である。

教育委員会の事業予算が可決され、本当に検討委員会からの提言書が出てきたとしても、それが尊重されない結果があるならそれに六百数十万を掛ける話に手を挙げてはいけないのでは。どちらの予算にも正当性があり、つじつまが合っていることが納得できれば進んでも良い。しかし、現状は矛盾が生じてはいないかというのが疑問の根底なのである。

早くやるべきだとはいえ、そのためには何でも良いのか、どのような進め方でも良いのか。それはまずいのではないかと指摘しているのである。納得できる考え方が

あるなら納得する。私は皆の意見を否定しているわけではない。素朴な疑問から問題提起しているだけなので、説明をいただきたい。

○大谷議員

ご指摘ごもっともと受け止めている。今後の予算決算委員会でもみながら、先ほど指摘のあった不一致な点については、きちんと整合性を求めて制約を掛ける形でも物事は前進するような気がした。いずれにせよ長い時間を掛けるのは得策ではないので、合意に向けて取り組みたい。

○岡本議員

私は昨日市長に2回質疑したが、市長は皆にお示しするためのたたき台だと言われた。知見のある方にたたき台を作ってもらうのが合築の話。

教育委員会は教育委員会で、神楽関係の予算を上げている。これは、執行部が考えるため、そして我々が考えるための案の予算だと思っている。全部否定してしまうと前に進まない。認めてやったらどうか。

○川上議員

今回の二つの予算は不整合の部分がたくさんある。急がば回れ、もう一度足元を固めることを皆とやっていくと同時に、執行部にもそれを求めていきたい。

○牛尾議員

二つの予算を比べると、どう考えても神楽伝承館の内容について1千万円以上の予算が付いている。片や三桜酒造跡地についても、読み込んでみると全く整合性が取れない。検討委員会からどういう方向が出るか分からないのに、1,500万円の予算が付いている。執行部が出したことを全面的に認めて何とかしてやらねばという考え方は一旦全部捨てて、本来市民のためにどうあるべきかという視点から積み上げて、おかしいところはおかしいと言わないと、この問題は禍根を残すのではないか。言うべきときに言うのが議会の役目である。それを言わないのなら議会不要論に行き着く。

○小川議員

冒頭に議長が言われたように、議会としての合意形成のための自由討議なので、何らかの合意点を見出して次につなげる努力をすべきだと思っている。

やはり市長が出している三つの機能を一つにして三桜酒造跡地に建てるという方針と、それを核にしてにぎわい創出するという方針を、議会は受けるのか否かを議論して、違うなら違うという到達点を見出す必要がある。二つの予算に不透明な部分はある。この疑問点を投げ掛けて執行部の見解をもらうのも一つの方法だと思う。議会側の合意形成をしながらこの問題に関わるなら、特別委員会設置も選択肢になり得る。

現時点で不透明な部分は執行部の見解を聞かないと、このまま予算審議に入るのは無理があるように感じる。

○議長

予算の話が出ているが、ここは予算決算委員会を経ての議論ではないので、予算のことは委員会でやって、方向性を示すべきだと考えている。

合意形成に努めるという話だが、議案の賛否のためではなく、議会としてどのよ

うにこの件を進めていくかという合意形成だと思っている。

一つ、グランドデザイン検討の特別委員会という話が出た。特別委員会を設置するためには議会運営委員会で諮らねばならない。もし必要だとなれば議会運営委員会で諮って設立すべきである。

また、整合性が取れないという話であれば、ここではなく予算決算委員会で良し悪しを議論すべきである。予算決算委員会では一人から、本会議なら二人以上から修正案が出せる。

調査結果について、それを基に三桜酒造跡地についてしっかり議論すべきだということで、我々は6月の予算を認めたはずである。しかし我々が議論する場もないまま方向性が決められた。川上議員が指摘したように、コンサルの調査結果を待たずに予算を決めているのではないかと疑義が生じてもおかしくない話なのである。

グランドデザインのことや、早く進めたい方の意見を否定はしない。議員個々の考え方だと思う。ただ、議会としてどのように動いていくか、ある程度皆も理解できたかと思う。

○佐々木議員

そもそも1年前にこの提案が突然出たときから、活用検討について質疑してきた。三桜酒造跡地を買ってまで市が活用していくのか、その答えがこの調査結果で出るのだと一般質問の答弁で言われたので、私も期待していた。しかしいろいろな不整合も見え隠れしている。

最も気になったのは、令和5年12月の三桜酒造跡地活用検討委員会において「三桜酒造跡地を活用して神楽伝承館を建てても差し支えない、ただし二つ条件がある」とされていたが、その二つをどのように検討してクリアし今回の提案になったのか。また、検討委員会でヒアリングした地元意見はどうなっているか。神楽団体からは舞う場の伝承を求める声が強く出ているが、それはどのように反映されるのか。駐車場問題はどうか。こういった、提案する前にまず解決すべき問題をどういう検討の上でどう改善するめどが立ったのか。第一段階の問題点がクリアされてない。

コンサルの提案にも「にぎわいの場にはならない」と書いてあるが、それが本当かどうか私には分からない。やはり実証実験をして一つの目安を作るのが妥当な線だろう。

郷土資料館は早くやらねばならない。神楽伝承館も石見神楽のアピールのために当然必要な拠点施設だと思う。広場や神楽館については十分な予算が付いているとは言えない。それを神楽関係者はどう捉えるか。位置付けが違うものを一緒にたに提案しているのが、非常に難しい点だと思うし、我々の判断も難しい。この件についてまずは認めてたたき台を見たいというのも一案だと思うが、そこに1,400万円の投資があることを我々がどう捉えるか。より慎重にならざるを得ない。

○議長

1,400万円の市長部局の予算と、1,100万円の教育委員会の予算との整合性が取れないという話は、予算決算委員会でしっかり議論されたい。

グランドデザインの話もあった。特別委員会を設置するとなるとそれも予算に係ってくるかと思う。全体の絵を描いてないのに予算を決めるのかという話にもなりかねないので、これは今回の定例会議が終わってからの話になろうかと思う。もし必要であれば議会運営委員会に提案され、皆が賛成すれば特別委員会設置となる。

こういう形で皆の合意形成が取れたということで、今回は閉めさせていただいてよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、以上で自由討議を終了する。

2 その他

○議長

その他、議員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなら、以上で全員協議会を終了する。

[14 時 37 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓